



志政会 しせいかい だより

令和5年3月発行
第31号
発行/静岡市議会 志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-254-2111
(内4505)
FAX 054-653-3412

児嶋喜彦



Q: 第2子保育料完全無償化について、認可外保育施設が対象外である理由は何ですか。また今後、認可外保育施設の第2子保育料無償化又は相当額の支援をする考えはありませんか。

A: 認可外保育施設については、英語教育に力を入れたり、野外活動など独自の教育・保育を提供する施設や、企業の従業員の福利厚生としての施設など、その形態は様々であり、保育料も各施設が自由に決定できるため、認可外保育施設を一律に支援することは難しいと考えます。今後については、国や他都市の動向に注視するとともに、認可外保育施設を利用する子育て世帯にどのような支援ができるのか研究していきます。

小山 悟



Q: 清水区の新しい学校給食センターの建設地を船越地区としたのはなぜですか。

A: 建設地については、主に次の3点を重視し、適地を探してきました。

1. 「限られた時間内で配送できる場所」であること。学校給食は、国の衛生基準により、調理してから2時間以内に食べなければならない規定があります。
2. 「敷地の広さ」。現在、1日当たり1万食程度を調理する施設を予定しており、8,000㎡以上の敷地を確保する必要があります。
3. 「周辺の交通環境」。新しい学校給食センターでは、多数の配送トラックや納入業者の車両が出入りするため、周辺の交通環境に配慮する必要があります。

志政会代表質問

令和5年2月議会が2月8日～3月17日まで会期38日で開催され、稲葉寛之政調会長が会派を代表して質問を行いました。代表質問では、自然災害への備えや4次総における重点施策について問い質しました。(以下質問抜粋)

自然災害への備えについて

Q 令和4年台風15号災害に対し、「災害時の情報収集」を大きな課題と認識しています。情報収集の方法について、どのように見直していきますか。

A 今後、総合情報サイトを構築し、行政だけでなく市民の皆さんからも、身近な被害情報を提供いただくことで、広範囲における被害情報を迅速に収集できるよう取り組んでいきます。

また、消防ヘリコプターやドローンは、広範囲における被害状況を上空から迅速に確認できること、また、オフロードバイクは、機動力に優れ、狭い場所での調査も可能であるため、それぞれのメリットを活かした効果的な調査方法を再構築するとともに、新たな調査方法として、航空写真や衛星写真などの導入も検討していきます。

G X(グリーントランスフォーメーション) について

Q 昨今の自然災害激甚化の大きな要因として、気候変動が挙げられます。今後は、災害に強いまちづくりを進めつつ、その要因となる気候変動への対応についても、車の両輪として進めていかなければなりません。カーボンニュートラルの実現に向けて、水素の利活用促進を図るために、新しくどのような取組みを行いますか。

A 令和5年度は新たに2つの事業の実施を予定しています。1つ目は、「グリーン水素供給設備整備事業」。これは、脱炭素先行地域の清水駅東口エリアにおいて、太陽光発電で得た電力を活用し、水電解でグリーン水素を製造・供給するステーションの整備を目指す民間事業者を支援するものです。

2つ目は、「燃料電池バス導入事業」。これは、民間事業者による「燃料電池バス」の導入を支援するもので、「燃料電池バス」の営業運転を通じて、水素需要の創出、さらには水素社会に対する市民の意識醸成等を図る狙いもあります。水素のより一層の利活用を図り、2050年カーボンニュートラルへと繋げていきます。



生活困窮者自立支援について

Q コロナ禍の長期化による経済活動の停滞に加えて、現在は、食料品や生活用品の価格上昇や電気料金の値上げ等も追い打ちをかけ、市民の暮らしは、ますます厳しくなっている状況です。生活困窮者への「住まい」の支援についてどのように取り組んでいきますか。

A 本市では、住居を持たない生活困窮者に対して、ホテル・旅館などの一時的な生活の場を提供する一時生活支援事業を実施していますが、自力でアパートを確保することが困難な事例が増えています。このような事例に対して、2つの居住支援法人に支援を依頼し、困りごとの解決に繋がっていますが、居住支援法人の財政基盤は十分とはいえ、今後すべてのニーズには対応できなくなる恐れがあります。

そのため、令和5年度から、居住支援法人に対し、新たに本市からも支援実績に応じた補助金を交付し、居住支援法人の支援体制の強化を図っていきます。

ものづくり産業について

Q 「第4次ものづくり産業振興基本計画」はどのようなことに力点を置き、今後どのような取組みを行っていきますか。

A 本計画では、「競争力・販売力の強化」と「ものづくり人材の強化」の2つを掲げました。「競争力・販売力の強化」に向けては、顧客の獲得や、売上増加といったゴールを見据え、「持続的な発展に向けた競争力強化事業」を実施します。

「ものづくり人材の強化」に向けては、若年者等に対し、ものづくり産業への理解を拓けるとともに、製造事業者の発信する力を高める取組みとして、現場公開や、体験の場を提供する「オープンファクトリー推進事業」を公民連携で実施します。

4月から第2子の保育料が完全無償化されます



静岡市は、今年4月から年収やきょうだいの年齢に関係なく、第2子の保育料を完全無償化します。第2子の保育料完全無償化は政令指定都市で初となります。

また、静岡市では「しずおかハグくむ子育てプロジェクト(しずハグ)」と銘打ち、無償化以外にも子育て政策を強化していきます。

しずおかハグくむ子育てプロジェクト(しずハグ)

- 伴走型相談支援
 - ・保健師の自宅訪問を、計4回に増やす
 - ・子どもが3歳になるまでLINEによる定期的な情報発信
- 屋内遊び場づくり
 - ・R8年度のオープンを目指し、屋内遊び場づくりをR5年度からスタート
- ヤングケアラー支援
 - ・コーディネーターの配置
 - ・関係機関職員への研修
- インクルーシブ教育・保育の推進



遊び場のイメージ

【静岡市の保育料(R5年4月～)】

きょうだい全て未就学児の世帯	きょうだいに就学時(小学生以上)がいる世帯	
	年収360万円未満相当	年収360万円以上相当
所得関係なし		
第1子 未就学児 全額負担	第1子 就学児 (保育料なし)	就学児 (保育料なし)
第2子 未就学児 半額負担 → 無料	第2子 未就学児 半額負担 → 無料	1人目 未就学児 全額負担 → 無料
第3子 未就学児 無料	第3子 未就学児 無料	2人目 未就学児 半額負担 → 無料
第4子～ 未就学児 無料	第4子～ 未就学児 無料	3人目～ 未就学児 無料

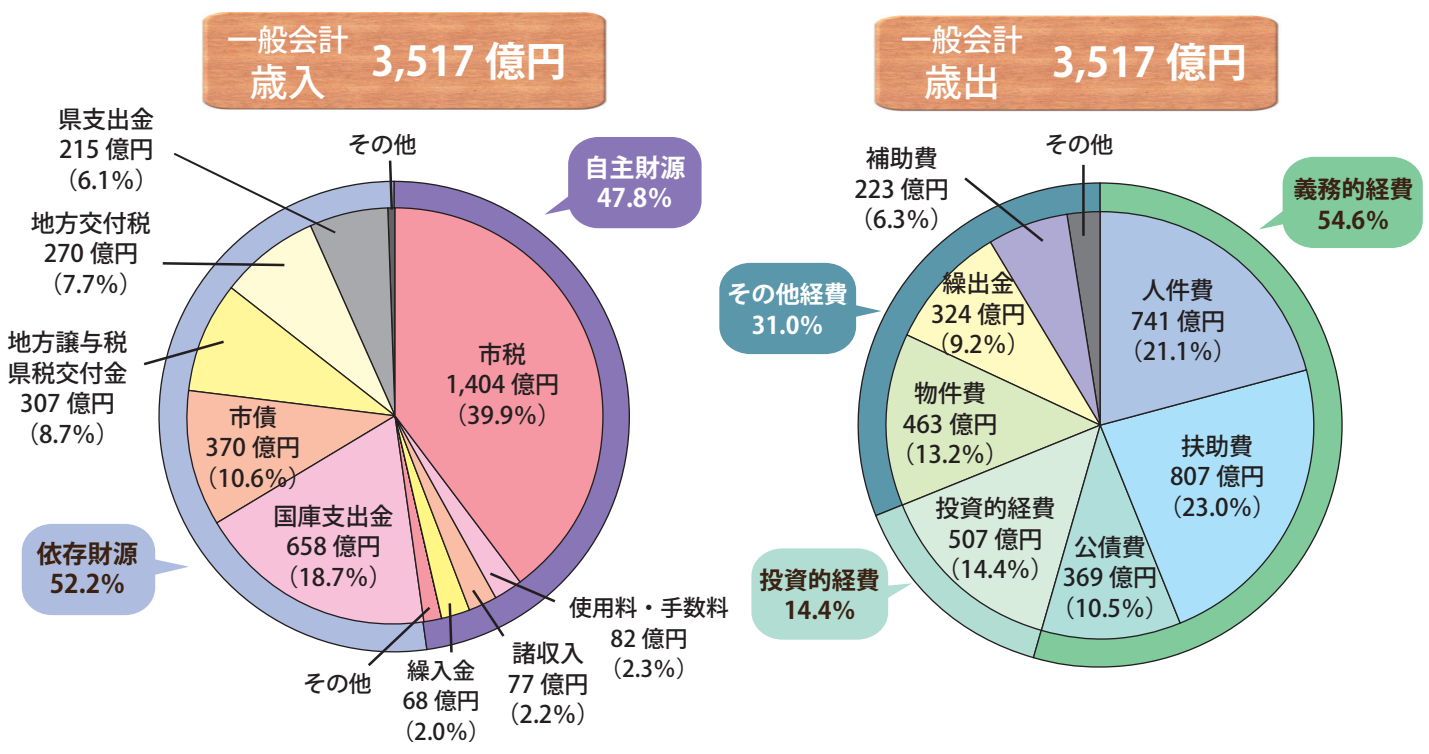


当初予算

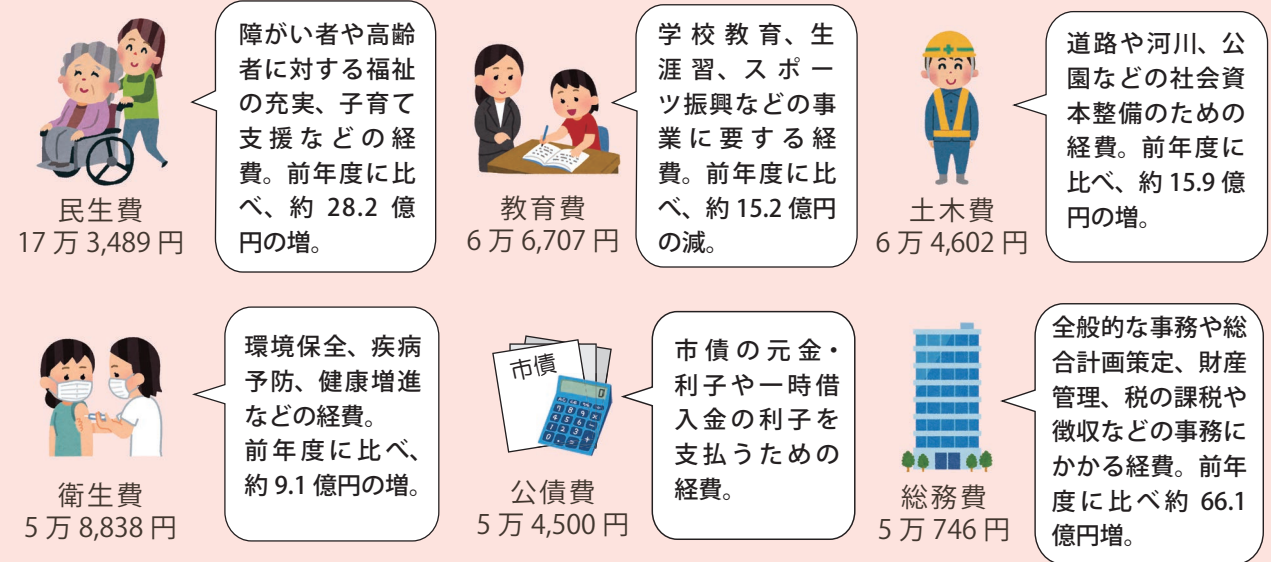
令和5年度当初予算一般会計 3,517 億円 (前年度比 +4.1%)

令和5年当初予算の一般会計は3,517億円で、過去最大規模となりました。これは、(仮称)静岡市海洋・地球総合ミュージアムの整備や令和4年第15号台風被害に対する災害復旧などにより、投資的経費が約94.9億円増加したほか、新型コロナウイルスワクチン接種事業や児童クラブ運営事業の増などにより物件費が約33.7億円増加したことなどによるものです。

なお、市債残高は約4,676億円となり、市民1人あたりの市債残高は約684,000円となっています。



市民1人当たりの予算 516,367円はこうに使われます



*一般会計のそれぞれの額を令和5年2月の推計人口で割りました。

4次総「5大重点政策」の取組に予算を重点配分

子どもの育ちと長寿を支えるまちの推進

- 第2子以降の保育料の完全無料化 (*4頁参照)
 - きょうだいの年齢や世帯の所得に関係なく、2人目以降の子どもにかかる保育料を無償化。
- 妊娠・出産・子育てにおける伴走型の支援
 - ・未就学児の相談支援の強化
 - ・出産子育て応援給付金
- 屋内遊び場施設の整備に向けた調査研究
 - 令和8年度オープンを目指し、子育て家庭のニーズにあった屋内遊び場づくりを行う。
- 誰もが活躍できる社会実現に向けた支援体制の調査

城下町の歴史文化を守り抜くまちの推進

- 大河ドラマ館と歴史博物館による市内外誘客の促進
 - 【大河ドラマ館】静岡浅間神社内 R5年1月27日～R6年1月28日
- 将棋・囲碁大会の開催
 - ・将棋「名人戦」R5.4月26日～28日
 - ・囲碁「本因坊戦」R5.5月の3日間
- JR静岡駅南口駅前広場の再整備

オクシズの森林文化を育てるまちの推進

- 暮らし続けることができるオクシズの構築支援
 - 自治会や民間事業者と連携した移動販売による買い物支援や、雇用創出や人材派遣を行う事業協同組合の設立準備
- 地域活性化に向けた移住促進
- オクシズの生活利便性向上のための道路整備
 - ・両河内スマートIC(仮称)アクセス道路 他

港町の海洋文化を磨き上げるまちの推進

- (仮称) 海洋・地球総合ミュージアムの整備
 - 【供用開始】令和8年4月予定
 - 【総額】169億6,000万円 (R5～R22年度)
- 新興津地区への海づり公園の整備
 - 令和5～6年度 工事
 - 令和6年度末 暫定供用開始
 - 令和7年度末 供用開始
- 清水港への客船誘致と歓迎イベントによる賑わいの創出
 - 【客船寄港数】77隻(予定)
- 脱炭素先行地域における再エネ設備導入の促進

アートとスポーツがあふれるまちの推進

- 春夏秋冬ごとにフェスティバルが楽しめるまちの推進
- プロスポーツチームと連携したまち・ひとづくりの推進
 - プロ卓球チームと連携した地方創生事業
 - ・卓球教室の開催 ・ホームゲームへの招待
- サッカースタジアムの候補地の調査・検討
 - 周辺のまちづくりの検討、経済波及効果 等

危機管理の強化

令和4年9月に発生した台風15号による被害から得た課題や教訓に基づき、市民の生命・財産・暮らしを守り抜くための取組みを推進する。

- 巴川流域などの治水機能の強化
 - ・浸水対策推進プランに基づく河川改修の実施(谷津沢川改修)
 - ・雨水幹線、雨水ポンプ場整備
 - 大沢雨水1号幹線築造工事
 - 渋川雨水ポンプ場整備工事
- 給水インフラの強化
 - ・承元寺取水口機能停止に伴う水源の検討
 - ・承元寺取水口の災害復旧修繕
 - ・給水拠点の整備(葵区羽鳥地区、清水区草薙3丁目地区)
- 災害時の情報収集と発信体制の強化
 - ・静岡型「災害時総合情報サイト」の構築(2月補正)
 - 避難所や断水世帯、給水ポイントの場所等を地図上に一括で表示するサイトを構築する。
 - 令和6年10月運用開始予定。



渋川雨水ポンプ場完成予定図



承元寺取水口

